

平成24年 8月 8日  
独立行政法人  
日本原子力研究開発機構  
敦賀本部

## 高速増殖原型炉もんじゅ 炉内中継装置の落下に係る復旧完了について

高速増殖原型炉もんじゅ（定格出力28.0万kW）は、平成22年8月26日に原子炉建物において発生した炉内中継装置の落下について、平成23年6月24日、炉内中継装置を燃料出入孔スリーブと一体で引抜きを行い、平成24年3月9日、引抜いた炉内中継装置についての点検・調査、及び炉内構造物に関する影響評価、再発防止対策などの検討を踏まえ、炉内中継装置の落下に係る原因と対策を取りまとめ、原子力安全・保安院並びに地元自治体に報告いたしました。

【平成24年3月9日 プレス発表済み（参考資料参照）】

これに対し、平成24年4月2日、原子力安全・保安院より「設計、製作段階や部品交換時の安全対策に係る技術的検討や製造事業者に対する技術レビューが不十分であったことについての根本原因分析が不足していることから、根本原因分析の拡充を行い、必要な対策を立案すること」の指示<sup>※</sup>を受け、根本原因分析の拡充を行い、平成24年6月15日に原子力安全・保安院並びに地元自治体に報告いたしました。

【平成24年6月15日 プレス発表済み】

また、原子炉機器輸送ケーシングの落下原因を踏まえた改造を行い、新たに製作した炉内中継装置を原子炉容器内に据付けた状態での機能確認を行い、平成24年6月21日、国による使用前検査（機能確認）を受け、燃料交換が正常に行えることを確認しました。

今般、機能確認後に実施してきた炉内中継装置の機能確認後の後片付け作業における炉内中継装置のナトリウム洗浄後の外観確認や作動確認など全ての作業が終了するとともに、原子力安全・保安院による炉内中継装置落下に伴う設備への影響についての評価並びに炉内中継装置落下に関する根本原因分析についての評価が取りまとめられたことから、本日、炉内中継装置の落下に係る復旧が完了し、正常な状態に復帰しました。

なお、炉内中継装置の落下に係る復旧が完了したことから、地元自治体に安全協定に基づく異常時終結連絡書を提出いたしました。

※ 「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第62条の3に基づく報告等を踏まえた根本原因分析の実施について（指示）」（平成24・03・30 原院第11号）

（参考）これまでの経緯

平成22年	8月26日	炉内中継装置の引抜き作業中に同装置が落下
	8月27日	原子力安全・保安院より、本事象の状況、設備への影響及び通報連絡に時間を要した経緯を確認するとともに、原因調査とその再発防止対策について報告するよう指示文書を受領
	10月1日	炉内中継装置の落下に係る中間報告書を提出
	10月4日	炉内中継装置の引抜き作業実施（荷重計ノイズ発生により中断）
	10月13日	炉内中継装置の引抜き作業実施（引抜き荷重超過により中断）
	11月9日	炉内中継装置の内側案内管の内面観察を実施し、観察の結果から原子炉等規制法に基づく報告の対象と判断
	11月16日	予備孔に挿入した観察装置による炉内中継装置の接続部近傍の外面観察の実施
	12月16日	燃料出入孔スリーブとの一体引抜き方針の決定及び今後の工程の公表
平成23年	1月18日	「第1回炉内中継装置等検討委員会」の開催
	2月21日	炉内中継装置の引抜き工事に係る準備作業開始
	2月24日	「第2回炉内中継装置等検討委員会」の開催
	5月10日	「第3回炉内中継装置等検討委員会」の開催
	5月24日	炉内中継装置の引抜きに向けた工事開始
	6月23日	炉内中継装置の引抜き作業開始
	6月24日	炉内中継装置の引抜き作業完了
	7月12日	炉内中継装置本体の分解点検の終了
	8月24日	「第4回炉内中継装置等検討委員会」の開催
	8月29日	原子炉上部での復旧工事開始
1	11月11日	原子炉上部での作業終了
平成24年	1月26日	「第5回炉内中継装置等検討委員会」の開催
	3月9日	原子力安全・保安院へ炉内中継装置の落下に係る原因と対策について報告
	6月15日	原子力安全・保安院へ炉内中継装置の落下による変形に係る根本原因分析の拡充及び対策の報告
	6月21日	炉内中継装置の機能確認（国による使用前検査受検）
	6月22日	炉内中継装置の機能確認後の後片付け作業開始
	8月8日	炉内中継装置の機能確認後の後片付け作業終了（復旧完了）

以上